

＝いじめをなくし、仲間を思いやる心を小中間でつなげ、
市内全校に広げるために＝

令和 6 年度 絆づくり成果交流会 実施報告書



なかなおいマーク

令和 6 年 1 0 月 3 1 日 (木)
滝川市立中学校 (3 箇所)
滝川市役所 8 階 大会議室

滝川市教育委員会

令和6年度「絆づくり成果交流会」

=いじめをなくし、仲間を思いやる心を小中間でつなげ、市内全校に広げるために=



なかなおいマーク

期日：令和6年10月31日（木）

場所：市立中学校（3箇所）
滝川市役所8階大会議室

《開 会》

1 オリエンテーション 滝川市教育委員会 教育総務課主査 小 西 和 真

2 参加者交流（中学校区での自己紹介）

2 各中学校区の実践交流の紹介（実践交流）

- ① 明苑中学校区
（明苑中学校、滝川第三小学校、東小学校）
- ② 開西中学校区
（開西中学校、西小学校）
- ③ 江陵中学校区
（江陵中学校、滝川第一小学校、滝川第二小学校、江部乙小学校）

3 グループ協議（中学校区）

テーマ「実践交流を通して感じたこと、自分も相手も大切にするためにできること」

4 発表・交流（全体）

5 講 評 滝川市教育委員会 教育長 田 中 嘉 樹

《閉 会》



〔主催〕 滝川市教育委員会

〔後援〕 滝川地区保護司会・滝川市PTA連合会



《報告》 令和6年度絆づくり成果交流会

＝いじめをなくし、仲間を思いやる心を小中間でつなげ、市内全校に広げるために＝

10月31日（木）、滝川市内9校の小・中学校児童会・生徒会役員が集まり、各学校の「いじめのない学校づくり」の取組を交流する令和6年度「絆づくり成果交流会」を開催いたしました。

今年度は、市内中学校をICT機器の活用によりオンラインでつなぎ、各中学校区の児童会・生徒会が取り組んできた「いじめ防止」と「絆づくり」の活動を発表し、感想を交流しました。

全体交流では、各中学校区ごとに児童会・生徒会のメンバーが話し合ってまとめた「自分も相手も大切にするために、①一人でできること、②友だちとできること、③みんなでできること」のアイデアが発表されました。各中学校区で、提案されたアイデアを参考にして、「いじめのない明るい学校づくり」に取り組みましょう。

【各中学校区で協議した内容】

中学校区	一人でできること	友だちとできること	みんなでできること
江陵中学校区	思いやりを持つ 積極的に交流	気軽に話せる雰囲気づくり	抱え込まずに相談する
明苑中学校区	周りの人の気持ちを考えて行動・元気になる 挨拶（聞こえやすい声）をする	友達同士で挨拶をしたり、相談し合ったりする	周りをよく見る、普段から挨拶をするなど、皆と関わり絆を深める
開西中学校区	自分と相手について考え、行動する	自分と友達同士で仲良くするためにできることをする	一人ひとりが助け合い、それぞれの気持ちや意見を尊重する



江陵中学校区



明苑中学校区



開西中学校区

江陵中学校区：滝川第一小学校・滝川第二小学校
江部乙小学校・江陵中学校

明苑中学校区：滝川第三小学校・東小学校・明苑中学校

開西中学校区：西小学校・開西中学校

【問い合わせ先】

滝川市教育委員会教育総務課
28-8042（直通）

1. 各学校の取組の紹介

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立明苑中学校

いじめ根絶に向けて～明苑中学校区で一丸となって取り組む活動～

〈 取組内容 〉

1 生徒が主体となっていくあいさつ運動

明苑中学校では、生徒会執行部や学級役員が中心となって生徒玄関前で毎朝あいさつ運動を行っています。

玄関に立って「おはようございます」と声をかけ合うことで、人と人とのつながりや会話のきっかけをつくり、一日を明るくすることにつなげたいと考えています。挨拶をしても返してもらえないこともありますが、日々継続していくことで着実に挨拶の輪が広がっていると感じています。「あいさつの明苑」を作っていくためにとても大切な取り組みです。

人とのつながりという視点では、地域の除雪ボランティアを実施しました。相手のために自分ができることを一人ひとりが自発的に行い、感謝の言葉をもらいました。また、夏休みに小学校に勉強を教えに行く学びのボランティアも行っています。今後も絆づくりを継続していきたいと思っています。



2 いじめゼロのために連携を目指す取り組み

東小・第三小・明苑中の3校で毎年継続した取り組みとなっている「いじめ撲滅集会」を昨年度は明苑中学校に集まり、取り組みました。昨年は「どのようなときにいじめに発展するか」について事前に考えを深め、いじめ撲滅集会では各グループで考えを交流し、グループごとに今後の生活の中で意識できるよう「スローガン」を決めました。そのスローガンを記載したポスターを明苑中学校区で掲示し、各校で活動を振り返られるようにしました。多種多様なスローガンが出された中でアンケートの結果、言葉は人を傷つける武器にもなるし、人を助けることもできる。という理由から「言葉はナイフ」がスローガンとなりました。今年度もいじめ撲滅に向けたスローガンをつくる予定です。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○自らあいさつをしてくれる人が増えた。

○いじめ撲滅集会は対面で交流しやすくなったことで、三校の様々な意見を知ることができた。

▲あいさつを言葉でなく、会釈だけで済ませる生徒がいる。

▲いじめ撲滅集会はグループによって交流の密度が異なることがあった。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立滝川第三小学校

みんなが毎日楽しく元気に過ごせる学校づくり

〈 取組内容 〉

1. あいさつ運動

前期は毎週水曜日、後期は毎週火曜日に書記局が玄関にポスターを持って立ち、あいさつをしています。元気なあいさつから気持ちよく一日をスタートできるように、まずは書記局から「おはようございます」と元気なあいさつをしています。児童全員が自分からあいさつができる第三小学校をめざして続けていきます。



2. 1年生とふれ合おう集会

前期に入学してきたばかりの1年生に、学校を楽しんでもらおうという思いで、「1年生を迎える会」とは別に書記局で企画し、休み時間に行いました。1年生はもちろん、全校児童で楽しみ交流することができました。後期は、絆を深めよう集会を予定しています。



3. スマイルプロジェクト

学校中があたたかく優しい言動であふれるように、前期は「うれしかったこと」「第三小のいいと思うところ」「みんなへのメッセージ」を掲示板に張り出して、交流しました。後期も、みんなが挑戦していることを書く「挑戦掲示板」などを予定しています。

4. 各委員会が企画運営する「絆づくり」の集会などの活動

各委員会でも、学年をこえた「絆」ができるように工夫して活動しています。体育委員会では「体を動かそう集会」や集会委員会では「チャレラン集会」と題し、色々なことに挑戦する集会を行いました。また、広報委員会では、「いじめ撲滅ポスター」を作り、掲示しました。縦割り清掃をはじめ、他学年との交流の機会をたくさん作り絆を深めています。

〈 まとめ 〉

- 書記局をはじめ、各委員会が中心となり、学年の垣根を超えた集会を開き、絆を深めている。
- ポスターや掲示板も活用して、絆づくり・いじめ防止に取り組んでいる。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立東小学校

明るくあいさつ！絆が深まる楽しい東小づくり

〈 取組内容 〉

1 あいさつ運動“あいさつの菜の花を咲かせよう”

昨年の書記局が取り組んだ「3人以上にあいさつをしたら“菜の花”を貼る」という、あいさつ運動を継続したい！ということで、今年も同様に取り組みました。

書記局が先頭に立って玄関や廊下に立ちましたが、5・6年生にも協力を呼びかけ、あいさつサポーターとして一緒に学校を明るく盛り上げることができました。

できた菜の花は、みんなが通る廊下にどんどん提示して咲かせていきました。

昨年より、たくさんあいさつの菜の花を咲かせることができました。



2 心ばかほか“ハッピーボックス”

1学期の終わりに、1学期うれしかったことやありがとうと思ったことを募集しました。各階に“ハッピーボックス”を設置し、みんなからたくさんのアンケートが集まりました。集まったアンケートは、3回に分けてお昼の放送で紹介しました。

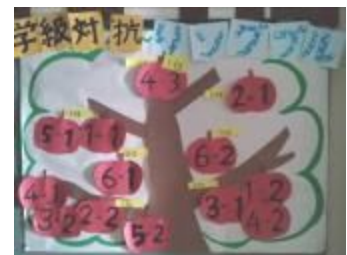
心温まるエピソードに、紹介された人はもちろん、「ありがとう」を言われた人や、放送を聞いている人など、みんなが笑顔になりました。



3 一致団結“学級対抗リングプル集め”

東小では、リングプルを集めています。そこで、「学級対抗にしたら、より学級の絆が深まると思う」と考え、学級対抗にしました。

結果は、全校が目につく所に、“りんごの木”として発表し、お昼の放送でも知らせました。「うちの学級が1番」「たくさん集めたよ」という声が聞こえ、楽しく取り組むことができました。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- “あいさつの東小”の伝統を引き継ごうという気持ちが広がり、進んであいさつをしようとする意識が高まりました。みんなとあいさつをし合うことで、コミュニケーションが深まりました。
- “ありがとう”“うれしかった”など、心が温かくなる言葉や出来事をみんなと共有することで、みんなが優しい気持ちになりました。
- ▲あいさつは、“あいさつ運動”のときだけではなく、日常的にできるように日頃から意識して取り組んでいく必要があります。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立開西中学校

「過ごしやすい学校生活に向けたいじめ防止の取り組み」

〈 取組内容 〉

1 意見ボックスによる意見の取り入れ

各学年の教室付近に、写真のように意見を投稿できる意見ボックスを生徒会が設置しています。

意見ボックスで集めた意見は定期的に回収し、書記局だよりにて回答をお知らせしています。

意見ボックスはとく名で意見を投稿できるので、気軽に相談や質問がしやすく、いじめや嫌がらせなどをされたときの相談先として置いているというねらいがあります。



2 生徒会による生徒玄関前での毎朝のあいさつ運動

生徒会の生徒が、雪が降る期間は 7:55 ~ 8:05 に、そのほかの期間は 7:50 ~ 8:05 に生徒玄関前で登校してきた生徒に対してあいさつをします。

あいさつには、朝学校には登校してきた生徒に 1 日を気持ちよくスタートさせるために行っています。いじめは不満やいらいから始まることが多いと言われています。

ですので朝、学校に来たとき明るい元気なあいさつでよい 1 日を過ごしてもらるようにしています。



3 異学年交流会（ドッチボールなど）

1 年生から 3 年生が混ざって行う強健委員会の取り組みで、普段関わりの無い人や異学年とともに競うことで協力心や仲間意識が芽生え、いじめの改善につながるというもの。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 気軽に意見を言いやすい環境である。
- 他学年と交流する機会が昨年度よりも増えた。
- ▲ あいさつをしない生徒、返さない生徒がいる。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立西小学校

児童会と代表委員会による「仲間づくりプロジェクト」

〈 取組内容 〉

1 仲間づくりプロジェクト第1弾「挨拶バトン」

毎年行っている「あいさつ運動」を、バトンパスを行うことで、活発になるように工夫しました。

同学年同士のパスは禁止とし、必ず他学年との交流につながるようにしました。

ほかの学年にバトンを渡すというルールにしたので、いろいろな学年の人と交流でき、あいさつをするきっかけ作りができました。3日間行いましたが、最終日に近づくにつれて、みんなスムーズにあいさつをし合うことができました。



2 仲間づくりプロジェクト第2弾「縦割り班対抗5色綱引き」

児童総会の中で「自分たちも意見を出し合って、仲間作りプロジェクトに参加したい」という意見が出たので、アンケートをとって活動内容を決めました。清掃などで使っている縦割り班で、2班ずつの一つのチームになり、対決をしました。1～6年生で話し合って作戦を考えたり、協力し合って、楽しく綱引きができました。



3 常時活動「グッドグリーティング」

毎朝登校時間に合わせて、書記局が、音楽と一言メッセージやクイズなどを放送しました。今年度で3年以上連続で行っていて、西小の伝統のようになってる活動です。気持ちよく一日がスタートできるように工夫しています。



4 仲間作りプロジェクト第3弾、4弾

後期児童会と代表委員会が協力し、後期委員会活動の中で2つ、仲間作りや明るい学校作りのために活動を予定中。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○5色綱引きなど、一緒に遊ぶことを通じて、低学年と高学年の交流をより深めることができた。

○グッドグリーティングを、楽しみに聞いている児童や職員が増えた。

○あいさつ運動期間以外でも、いろいろな人へあいさつする児童が増えていった。

▲縦割り班や異学年との交流はできたが、クラスの親睦を深めることは、あまり効果が出なかった。

▲挨拶バトンについては、逃げるのが遊びになっていた場面も見られたので、もう少し趣旨を説明する必要がある。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立江陵中学校

絆はどこから生まれるか？ ～交流授業とこどもの意見会議を終えて～

〈 取組内容 〉

1 生徒会の絆作り活動「交流授業」

はじめに、執行部の中で「絆」はどんなことから生まれるのか意見を出し合ったところ、**コミュニケーションや楽しいことを一緒にする時間、安心できる場所の中で自然と生まれてくると考えました。**そこで、様々な案を出した結果、部活動や委員会以外に、あまり関わりのない異学年の生徒との交流が必要なのではないかという考えになりました。私たちは、**縦割りのクラスを作り執行部のメンバーで授業を行う交流授業**を行いました。

主な内容

- ①アイスブレイク
- ②自己紹介カードの記入＋交流
- ③班対抗の物当てゲーム
- ④絆作りの標語作り



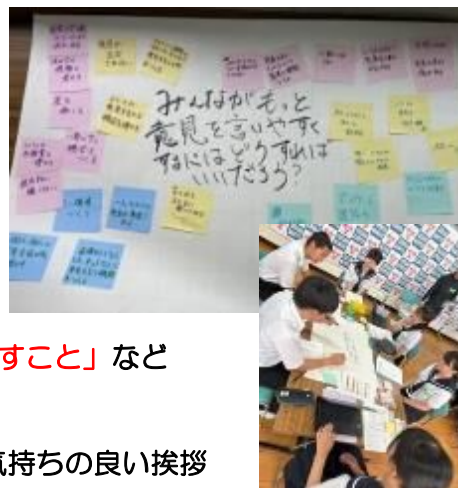
執行部のメンバーは、生徒が記入する「自己紹介カード」やオリジナルのスライドショーを作り、時間をかけて準備をしました。それでも緊張感があり、最初は静かな様子で始まりましたが、徐々にクラス全体の雰囲気はほぐれていきました。最後の標語作りでは、「増やそう！笑顔のリアクション」や「ほどきたくない、人との絆」など、班ごとに考えた標語を書いていました。

2 「こどもの意見反映会議」の参加

江陵中学校の生徒会が、社会のしくみについて意見を伝える子どもの代表として選出され、「こどもの意見反映会議」に参加しました。執行部が2グループに分かれ、「“こどもまんなか社会”とはどんな社会か？」「みんながもっと意見を言いやすくするにはどうしたらいいだろう？」など、テーマに合わせて話し合い、ふせんに意見をまとめました。

「意見を話すツールがたくさんあること」、「意見を言いやすい環境をお互いに作ること」、「SNS や匿名で相談できる場を増やすこと」など具体的な解決策が挙げられ、とても有意義な時間となりました。

この他にも、執行部による「あいさつ運動」を行い、生徒に気持ちの良い挨拶をするように呼びかけることができました。



昨年、東京・文部科学省で開催された「いじめ問題こどもサミット」に参加した際、絆を作ることに対して、次のような気づきが生まれました。
 一人でできること……相手に伝わる大きさと、気持ちの良い挨拶
 友達とできること……意見を言いやすい環境づくり・雰囲気を心がけて相手と接する
 みんなでできること…コミュニケーションや楽しい時間を共にする



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 交流授業をしたことで他学年と関わる機会を作り、良い雰囲気の中で取り組むことができました。
- 意見を言いやすい環境や相談の場を増やすことがいじめを減らし絆を育むことに繋がると実感しました。
- ▲自分から進んで挨拶したり、コミュニケーションをとれるようになるには、経験や場数、時間がかかると感じたので、今後も取り組みを続けていく必要があると思いました。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立滝川第一小学校

思いやりがあって明るく楽しい学校を目指した児童会企画

〈 取組内容 〉

「全校児童が思いやりがあって明るく楽しく過ごせる学校をつくる児童会」を目標に、よりよい第一小学校を目指してきた前期児童会の活動をご紹介します。児童会で話し合いを重ねながら、積極的に活動に取り組んできました。

◎ あいさつ運動

「思いやりがあって明るく楽しく過ごせる学校」を実現するためには毎日のあいさつがとても重要だと考え、あいさつ運動を2回実施しました。

・ 1 回目

全校児童が積極的にあいさつをするためには工夫が必要だと考え、「あいさつスタンプラリー」を実施しました。スタンプカードを全部埋めた児童には景品(折り紙)を渡しました。

・ 2 回目

「スタンプラリー目当てになっている人がいた」という1回目の反省を踏まえて、景品無しで行いました。また、あいさつがしやすいように、場所も工夫しました。



あいさつ運動の様子

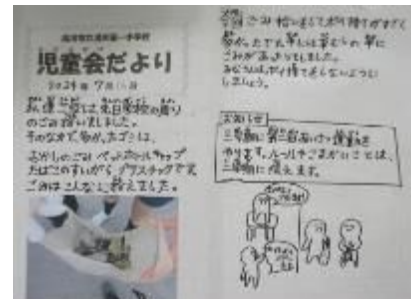


ごみ拾いボランティアの様子

◎ ごみ拾いボランティア

全校児童が気持ちよく過ごせる学校が、明るく楽しい学校につながると考え、学校周辺のごみ拾いを実施しました。

実施後には、ごみ拾いの結果を児童会便りに載せ、全校児童に学校周辺をきれいにすることを呼びかけました。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 【あいさつ運動】大きな声であいさつしてくれる人や、毎日しっかりあいさつしてくれる人が増えました。後期児童会でも、引き続き行う予定です。
- 【ごみ拾いボランティア】予想以上に沢山のごみが集まりびっくりしました。ごみ拾い後に全校児童に呼びかけると、学校周辺のごみが少なくなりました。
- ▲ 【あいさつ運動】スタンプラリーと景品が目的になってしまい、あいさつが減ってしまう人がいました。ごみ拾いボランティアで、全校児童に呼びかけるとごみが少なくなったので、あいさつ運動でも呼びかけを行いたいです。
- ▲ 【ごみ拾いボランティア】予想以上にごみが多かったため、次はグループ分けをして効率良くごみ拾いを行うと良いと思います。

☆ 後期は、前期の反省を踏まえて、違うボランティア活動を計画しようと思っています。他の学校の皆さんの意見を参考にさせていただきたいです。ご意見よろしくお願いします！

みんなの笑顔があふれる学校づくり

〈 取組内容 〉

1 「今日のミッション」

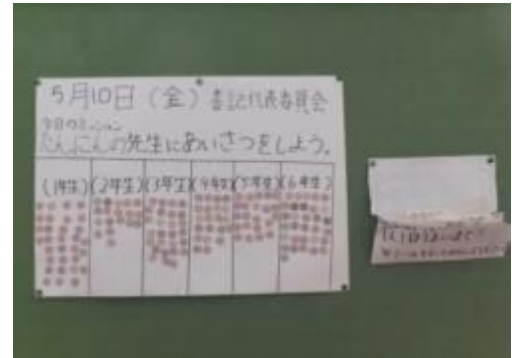
一つのことをみんなで共有してそれぞれで取り組み、毎日の楽しみをもって登校をすることができたらいい…という願いから行った企画です。

お昼の放送で、次の日に全校児童に取り組んでもらう「ミッション」を発表します。例えば、

- 担任の先生に挨拶をしよう
- 忘れ物をしないようにしよう
- いい姿勢で一日を過ごそう
- 靴をきれいに並べよう

のような内容です。

次の日に、ひとりひとりで取り組み、クリアできたらシールを貼ります。その日の放送で、学年ごとの達成者の数を発表します。



2 「協力クイズ宝探し」

みんなが笑顔になる企画をという思いからうまれたのが、この企画です。

なぞなぞが書かれたカードを体育館にばらまきます。クラスの生活班でチームを作り、協力してなぞなぞを解いていきます。

問題数以上のカードが準備されているので、同じ問題をめぐってしまったら、別の問題を探さなければなりません。また、それぞれのなぞなぞには点数がついているので、高得点の問題を探す楽しみもあります。

学年ごとに行い、その結果はお昼の放送で発表をします。



この2つの活動は「みんなが笑顔になる」をテーマに企画しました。個人で取り組むもの、協力して取り組むものとありましたが、それぞれの企画でひとりひとりの笑顔を見ることができました。

〈 成果(○)や課題(▲) 〉

ー今日のミッションー

○みんな積極的に参加していてよかった。学校がきれいになった。

▲全校のみんなにしっかり内容を伝えることができなかった。

ー協力クイズ宝探しー

○みんな楽しく参加できていた。解答用紙の工夫ができた。

▲ルールをみんな理解できていなかった。

▲低学年でもわかる問題をもっと作る。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立江部乙小学校

互いを思い合い、元気いっぱい笑顔があふれる江部乙小学校

＜取組内容＞

1 あいさつ運動

【目的】

朝の元気なあいさつで気持ちのよい一日をスタートさせよう。

【方法】

- ・よいあいさつを事前に全校児童に知らせる。
- ・書記局が全員で朝玄関に立ち、あいさつする。
- ・元気にあいさつをしてくれたことに対する感謝の気持ちを全校朝会で伝える。



2 全校遊び

【目的】

遊びを通して全校児童と仲良くなろう。

【方法】

- ・書記局が全校遊びを企画する。
- ・前期は「全校ドッジボール」を企画、実施。



3 短冊の飾り付け

【目的】

全校児童の決意や願いを交流し、絆を深める。

【方法】

- ・生活楽校委員会が企画、実施する。
- ・運動会に向けた決意や、七夕の願い事などを短冊に書いて児童玄関に掲示する。



4 なやみごとボックス

【目的】

困っている人が一人で悩まないように、みんなで助け合おう。

【方法】

- ・「なやみごとボックス」を設置し、悩みを解決する。

5 そらぶちキッズキャンプへの募金活動

【目的】

江部乙にある「そらぶちキッズキャンプ」に協力しよう。

【方法】

- ・そらぶちキッズキャンプについて知ってもらう。
- ・全校のみんなに募金への協力を呼びかける。



＜成果(○)や課題(▲)＞

○自分から積極的にあいさつする人や、相手の目を見てあいさつする人が増えた。

○「全校遊び」や「短冊の取り組み」により、異学年の交流の輪が広がった。

▲より効果的な交流の機会が増やせるとよい。

2. 感想交流(意見交換)の内容

明苑中学校区から開西中学校区（開西中学校）への質問

意見ボックスについて、いじめや嫌がらせをされたときの相談先としておいてあるという狙いがありますとありますが、実際にどのような内容の意見がきているのか教えてほしいです。

→最近では、体育館の使用割り当てや生徒会の中でルールを守ってほしいと言った意見がきています。いじめと関係がない意見が多くきていますが、自分たちの不満・意見を生徒会に伝えることができるので良いと思います。（開西中学校）

江陵中学校区から明苑中学校区・開西中学校区への質問

ボランティア活動については、どんな取組を行っていますか。

→除雪ボランティアという新町の除雪をするボランティアを行っています。（明苑中）

→生徒が高齢者の方々のために絵や住所を手書きで記入した年賀状を作成して毎年正月に高齢者の方々へ発送しています。（開西中）

→校外清掃という学校の周りの清掃やゴミ拾いをするという企画を考えています。（西小学校）

開西中学校区から江陵中学校区（江部乙小学校）への質問

そらぶちキッズキャンプへの募金活動を行っていると書いてありますが、実際にどのくらいの募金額が集まっていますか。

→今年は約 3,000 円が募金されました。（江部乙小学校）



3. 講評

滝川市教育委員会 教育長 田 中 嘉 樹

皆さん、こんにちは。本日の講演会にご参加いただいた児童生徒の皆さん、大変お疲れ様でした。素晴らしい発表だったと思います。また、発表に向けて生徒を支えてくださった先生方にも心より感謝申し上げます。

この「絆づくり成果交流会」は、形を変えながらも今日まで続いている事業です。この取り組みは、滝川市が全道に先駆けて平成21年から進めているもので、歴代の児童生徒が築き上げてきたものに、今日発表された皆さんの新たな歴史が加わったと言えるでしょう。

今年の交流会は昨年とは異なり、前半では各校の取り組みを発表していただき、後半では中学校区ごとに協議や意見交換が行われました。前半の発表では、さまざまなテーマに基づいて特色ある取り組みが行われていることが分かりました。特に、ほとんどの学校で挨拶運動が行われていたことが印象的でした。

後半の学校区ごとの交流では、「1人でできること」と「みんなでできること」が話題に上り、周りのことを考えて行動する、相手を思いやる、気軽に話せる雰囲気を作る、仲間外れにせず相手を尊重する、そして抱え込まずに相談することの大切さが強調されました。これらはすべて、非常に重要なことだと思います。

特に、後段の交流の場面では、中学生の皆さんが小学生をリードし、活発な意見交換が行われたとのことでした。それぞれの学校の取り組みや他校の良い例を取り入れ、今後の活動に生かしていただきたいと思います。

ただし、残念ながら全国的には、いじめの問題は依然として解決されていないのが現実です。また、いじめを原因とした悲しい事件や事故が発生していることも事実です。

そこで、皆さんにお願いがあります。いじめはどんな理由があっても決して許されないことを、各学校の取り組みを通じて、全ての児童生徒が自分ごととして考えてほしいのです。他人事ではなく、自分の問題として取り組むという意識を持ち、いじめを絶対に許さないという強い決意を持ってください。

いじめ根絶に向けて、皆さん一人ひとりがさらに努力を重ねることを期待しています。そして、先生方も引き続き全力で取り組んでいただきたいですが、児童生徒の皆さんも学校生活をより楽しいものにするために、努力を続けていただけることを心から願っています。

最後に、市役所の会場には、日頃から皆さんの活動を応援してくださっている方々がいらっしゃいます。滝川地区保護司会の皆様、滝川市議会議員の皆様、滝川主任児童委員の皆様、人権擁護委員の皆様、青少年育成会の皆様、いじめ防止に関わる団体の方々、そして保護者の皆様にもお越しいただいております。皆様方には、熱心に耳を傾けていただき、感謝の気持ちを伝えたいと思います。

また、滝川市保護司会の皆様からは、今日参加された児童生徒の皆さんに参加賞をいただいております。後日、お配りさせていただきます。高野会長様、ありがとうございました。

本日の「絆づくり成果交流会」にご参加いただいた全ての方々に感謝を申し上げ、講評とさせていただきます。ありがとうございました。



4. 参加した児童生徒の声

- ・第一小学校のスタンプラリーの取り組みが参考になりました。今後、挨拶運動の取り組みをする際に他の学校のような工夫をしたいと思います。
- ・西小学校の挨拶バトンの取組が全校児童の絆が深まるので挨拶は大事だと思いました。明苑と第三の方達と仲良くなれる機会があったので、楽しかったです。
- ・この交流会で学んだことは挨拶はやっぱり大事だな?と思いました。
- ・今日の交流をして学んだことで一番は挨拶をすることだと思いました。自分の学校にも生かしていきたいと思いました。
- ・この交流会で挨拶の大切さを改めて考えることができました。江部乙小学校のように挨拶をしたら感謝の気持ちを伝えられることがすごくいいなと思って自分もやろうと思うことができました。
- ・江陵中学校の交流授業のような他学年との交流をするような取り組みをしたいと思います。
- ・滝川第一小学校のゴミ拾いボランティアがとても参考になった。
- ・今後、第二小学校のデイリーミッションに取り組んでみたい。
- ・第二小学校のデイリーミッションが楽しそうだった。
- ・第三小学校の学校の良いところを書き取り組みが良いと思った。”
- ・滝川第二小学校のミッションで児童達を楽しませていることが参考になりました。
- ・滝川江陵中学校の交流授業で他の学年と勉強ができて、他の学年との交流が増えていいと思いました。
- ・江陵中学校の交流授業が参考になった。
- ・西小学校の挨拶バトンが楽しそうだったので今後、第二小学校で取り組んでみたいです。
- ・他校の生徒会、児童会の意見を沢山聞ける機会はそうそう無いので、とても貴重な時間を過ごすことができました。いじめのない学校作りにこれからも尽力して行きたいです。
- ・今後は今日のミッションや挨拶バトンに取り組んでみたいです。
- ・挨拶運動に力を入れているのでいろんな学校の挨拶運動の取り組み方がわかって貴重な体験となりました。
- ・東小学校のあいさつの菜の花を咲かせようという取り組みが参考になって、西小学校の仲間づくりプロジェクトの挨拶バトンが今後取り組んでみたいなと思いました。
- ・滝川第二小学校今日のミッションが参考になったから、今後今日のミッションに取り組んでみたい。
- ・江陵中学校の交流授業がとても参考になりました。今後取り組んでみたいです。
- ・ハッピーボックスを早速取り組んでみることにしました

- ・係活動で早速、ハッピーボックスを参考にした活動をやることになりました。ありがとうございました。
- ・第二小学校の今日のミッションが取り組んでみたいと思いました。
- ・西小学校の挨拶バトンが参考になった。今後、挨拶バトンに取り組んでみたい。
- ・第二小学校の今日のミッションが参考になりました。
- ・今後は東小学校の心ポカポカパッピーボックスに取り組んでみたいと思いました。
- ・いろんな学校が他学年と交流する機会や挨拶に関するイベントを行っていて、取り組んでほしいと思った。
- ・江別小学校の取り組みが参考になった。
- ・第二小学校の今日のミッションという取り組みが参考になった。
- ・開西中学校の意見ボックスを第三小も企画していたから、すごい参考になった。
- ・協議2の「自分も相手も大切にするためにできること」が考えて参考になった。
- ・友達との接し方とか、一人やみんなでできることを考えて、参考になった。
- ・挨拶バトンや全校遊び、今日のミッションを、今後、取り組んでみたいと思った。。
- ・西小学校の挨拶バトンの活動が、他の学年との交流が深まるため、参考になった。
- ・第二小学校の「今日のミッション」という活動の毎日楽しみを持って学校に行くことができるというのが参考になった。。
- ・西小学校のあいさつバトンが参考になった
- ・第二小学校の今日のミッションが参考になった。このような取り組みを今後の生徒会でもやってほしい。
- ・明苑中は異学年の交流が少ないので西小学校の挨拶バトンなどを参考に異学年交流の機会を作りたいと思いました。
- ・第三小学校のスマイルプロジェクトが参考になったので、今後の活動で取り入れてみたいと思いました。
- ・日替わりミッションが面白くてやってみたいと思った。
- ・やる機会があれば交流授業をやってみたい。
- ・挨拶運動をするだけでなく、挨拶をしたらポイントがたまるとか何かをもらえるとかが挨拶がしたくなる取り組みをしたいと思った。
- ・ポップを作る活動はとても面白そうで、ぜひ江陵中でも取り組んでみたいなと思いました。

